

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2004年7月20日発行

No. 13



総合学習授業研究会開催！ 「とび出せ、まんこたんけん隊」～校内研修～



6月18日（金）、午後1時45分より当センターで、小祿小学校4年生の総合学習の校内授業研究会が行われた。テーマは「とび出せ、まんこたんけん隊」授業者は八幡昌士教諭。学習は2時間扱いの内容で、前半1時間は干潟でビンゴ、それぞれ子どもも先生もどぼどぼの五感を使って授業、センター職員3名も支援に入る。後半ウェビング※の授業を山盛校長他職員による授業研究会。子どもたちの活発な発表；それぞれの個人課題へ、とつなげた。最後に山盛校長先生から「やさしさがみえた授業」とのお言葉。心に残る新鮮な授業であった。

※網の目のように組み合わせられ、学びが総合化されていく事

いつも
ありがとうございます



センター前の植木をいつもきれいにして頂いております。仲程先生、浜元さん本当にありがとうございます！！





平成16年度 第1回自然講座 楽しく学ぼう！マングローブ



6月26日(土)琉球大学農学部の中須賀常雄先生による「楽しく学ぼう！マングローブ」講座が行われました。(参加者34名)

マングローブは、汽水域(海水と淡水が混ざる場所)で生育できる植物の総称です。漫湖にたくさん生えているメヒルギもマングローブの一つですね。

レクチャー室では、スライドを見ながらマングローブの仕組みなど基礎知識の学習をしました。また、10年前の写真と今の写真を比べて、漫湖干潟上のヒルギ林が広がっていく様子がよくわかりました。

先生は調査やゴミ拾いなどで、干潟の中に入っていきこともありますが、「とよみ大橋の下は、大人でも胸ぐらまで埋まる」ほど、泥が深いそうです。夏休みのこの季節、カニ探しに夢中になって奥まで入り込まないように、注意しましょう！

講義の後は、みんなで外へ出て実際のマングローブを見ながら、先生の解説を聞きました。ヒルギは、吸い上げた塩分を葉に集めて捨てるという話を聞いて、黄色くなった葉っぱをかじってみる人も・・・
沖縄は梅雨も明けて、快晴！ 暑い太陽の下、観察に参加したみなさんお疲れ様でした。



漫湖クリーンサークル結成

都会の中に残された干潟として、漫湖のゴミ問題は大きな課題です。

6月のある日、センターを訪れた小学生数名から「ゴミ拾いをしたいんですけど・・・」との申し出がありました。暑い中1時間みんなで集めたゴミは、大きな袋に七つ。終わった後、「来週も来ていいですか？」とうれしい一言。

そのことばから、漫湖クリーンサークルが始まりました。現在、毎月2~3回程度、土曜日の午前中に集まって、センター近くの川岸のゴミ拾いをしています。子供たちの自主性を尊重しつつ、センター職員や、那覇市のクリーン推進課が協力をしています。



サークルのメンバーに聞いてみました。

- ゴミ拾いをしようと思ったきっかけは？

「見学に来たときに、ゴミがいっぱいあったので、ゴミ拾いをしようと思いました。今は1日も休むことなくがんばってます！」

- ゴミ拾いをして感じたことは？

「毎週新しいゴミがいっぱいある！捨っても捨ってもキリがないので、ポイ捨てはやめてほしいと思った。」

小学生も頑張っています。みんなの力できれいな漫湖にしましょう！



夏休み！楽しく学ぼう！

夏休み自由研究企画（観察会）

見つけてみよう！カニのひみつ



写真は昨年の様子です

日時 8月14日(土) 13時～15時

講師 鹿谷 法一 先生

鹿谷 麻夕 先生（しかたに自然案内）

集合場所 漫湖水鳥・湿地センター

対象 小学校1年生以上（低学年は保護者同伴）

参加費 100円（保険料） 要予約

持ち物 水筒、帽子、タオル、日焼け止め、メモと筆記道具

※ 参加申し込みは、2週間前からとなります。

お問い合わせ

予約は漫湖水鳥・湿地センター：(098) 840-5121



漫湖 ～空と鳥と風と～ ふれあい行事

これからの沖縄を担う子供たちに漫湖の自然や生き物に興味や関心を持っていただければと思い、漫湖作文コンクールおよび絵画コンクールを開催することとしました。



第1回 漫湖作文コンクール

【課題】センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたこと

【応募資格】小学生（学校単位）

【応募方法】1,2年生の部 400字以内
3,4年生の部 800字以内
5,6年生の部 1200字以内
一人1点。学校推薦。

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】最優秀賞（図書券5000円）
優秀賞（図書券3000円）
優良賞（図書券2000円）
審査員特別賞（図書券1000円）

第2回 漫湖絵画コンクール

【課題】センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたこと

【応募資格】小学生・中学生

【応募方法】画用紙4ツ切、一人1点
絵の具の種類は問いません。
センターに郵送または、持参

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】漫湖大好き大賞（図書券5000円）
生き物大好き賞（図書券3000円）
ユニーク賞（図書券2000円）
審査員特別賞（図書券1000円）

☆詳しくは、漫湖水鳥・湿地センターまでお問い合わせください。

漫湖の仲間たち

～トントンミーの秘密 その1～

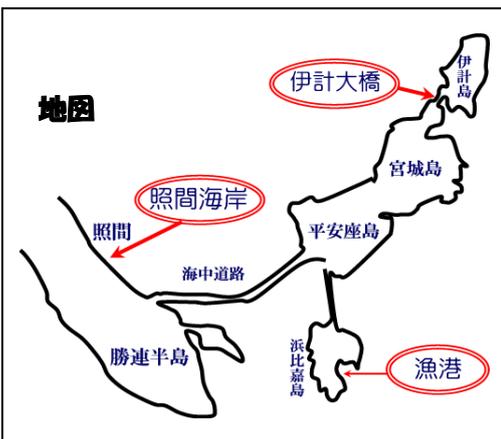


漫湖の川岸を歩いていて水際に近づくと、泥の上をピョンピョン、いやトントンとはねて逃げていく生物を見たことがあるでしょう。「トントンミー」という方言名がぴったりのこの魚、正式にはトビハゼまたはミナミトビハゼといいます。見分けるのは難しいのですが、漫湖にはこの2種類がいます。またその他に沖縄には、中城湾だけに生息する、細く長い背びれが特徴的なトカゲハゼという種類がいます（方言名では特に区別していません）。

どれも干潟の泥の上をはいまわるハゼの仲間ですが、胸ビレを手のように使って歩く姿と、そのユーモラスな顔は、むしろカエルのようなようです。しかしなぜ魚なのに陸の上で呼吸できるのでしょうか？それは皮膚呼吸ができるからなんです。時々、体をごろんと横に転がすことがありますが、これは体が乾かないようにするためでもあります。また、陸上で行動する時はエラにも水をためていて、エラ呼吸もできるようになっています。

さて、0

下の写真のように、マングローブ林の中に小さな煙突のような出っぺりを見たことはありませんか？これはミナミトビハゼの巣穴です。口で掘った泥が、入口に積み重ねてこんな形になったんですね。そーっと眺めてみて下さい。トントンミーが顔を出すかもしれませんよ。（つづく）



※砂の上に卵やヒナを見つけたときは、そのままにして、その場から離れてくださいね。

夏ですね！夏といえば、アジサシ！皆さんは見たことがありますか？南はオーストラリアから沖縄に渡ってきます。沖縄には、繁殖をするためにやって来ます。

アジサシを見た帰りに、照間の海岸によってみましょう。満ちて来る時間に行くと、シギやチドリがすぐ側まで来てくれます。その時は、静かに、動かずにやさしく・・・

～沖縄の探鳥地～
勝連半島周辺
(照間海岸)

・海中道路・伊計島

出かけてみよう！

漫湖水鳥瓦版13

～若いサギたちの集会所・6月～

<野鳥情報>

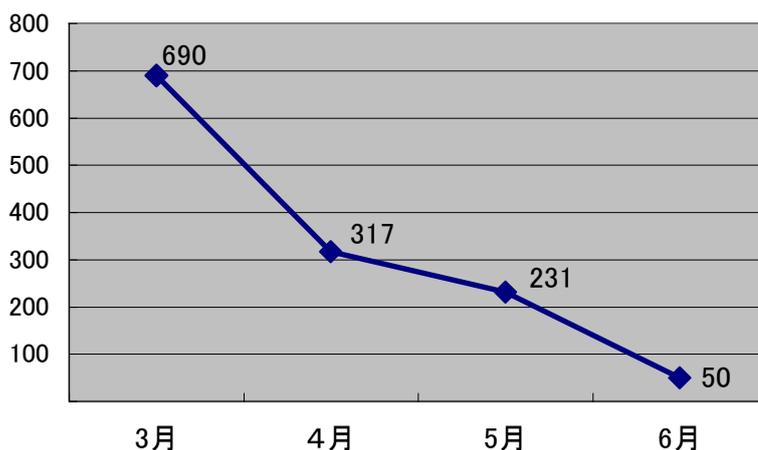
	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	↓
アカガシラサギ	1	↑
ダイサギ	5	↓
チュウサギ	8	↓
コサギ	10	↑
アオサギ	1	↓
ミサゴ	2	→
バン	3	→
ダイゼン	1	→
トウネン	5	↓
アカアシシギ	1	→
アオアシシギ	1	↑
キアシシギ	1	↓
ダイシャクシギ	2	→
チュウシャクシギ	1	↓
コアジサシ	3	↓
クロハラアジサシ	3	↑
合計	50	↓

春から夏へ

鳥の渡り



3月～5月までの水鳥個体数（羽）



3月の漫湖は、690羽のシギやチドリでにぎわっていましたが、6月にはわずか50羽になりました。ほとんどが北へ向かって出発していきました。

今漫湖では、越夏した若いサギと夏にしか会うことのできないアジサシ類に出会うことができます。



6月の最多数（羽）

(注)矢印は先月の最多数と今月の最多数の比較になります。

(→同じ ↓少ない ↑多い)

<つれづれなるままに・・・管理日誌より>

6月6日 大型映像で泥まみれの物体Xが映る。職員がとりに行くが、隠れてしましました。残念。イソアワモチ??

6月8日 コアジサシがダイビングしているところを、総合学習の子どもたちと観察。

「オー!!」と歓声を上げて喜びました。

6月10日 台風が来た!漫湖に大きなスーツケース2つがありました。(流れてきたのかな?)警察に届けました。

6月30日 久しぶりのアオサギ出現!あれれ、トウネン、キアシシギまでいる!今日は何の日??

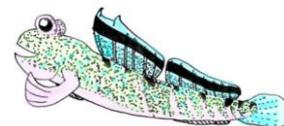
ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

<団体利用状況 6月>

○保育園・幼稚園
ドレミ保育園
○学童・子ども会
与儀児童クラブ
○小学校
垣花小学校 5年生
三原小学校
とよみ小学校 6年生
小禄小学校 4年生
小禄南小学校 6年生
垣花小学校 6年生
○大学
沖縄大学
○その他の教育関係
島尻地区小中理科担当研修会
小禄小学校校内研修会
○ONPO 団体
JICA
漫湖連絡協議会(レクチャールーム利用)
○その他
JA 津嘉山女性会
知花老人会
近畿日本ツアーリスト

総入館者数

27,303 人

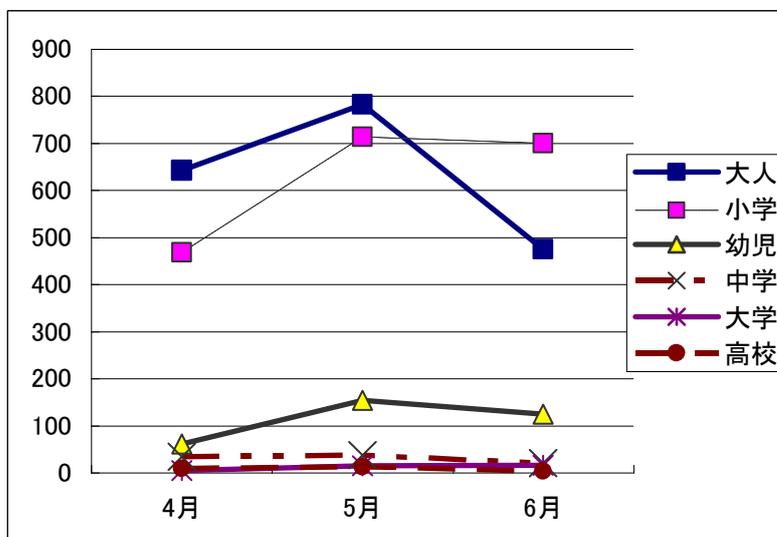


6月の入館者数

1,338人

(うち団体 598人)

16年度年代別入館者数(4月~6月)



<市町村別入館者数>

	市町村名	人数
1	那覇市	652
2	豊見城市	273
3	沖縄市	81
4	県外	47
5	西原町	30

ハイサイ! 全国のみなさん、暑中お見舞い申し上げます。ちゃー、がんじゅうやいびんなー(いつもおげんきですか?)。そして、いつもメールをにふえーでーびる(ありがとう)。水分、睡眠、食事、熱中症対策、ホッポー



広川 ヨシ子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)>

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)